

熊本中央病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用をさせていただいております。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

| | |
|-----------|--|
| 研究課題名 | 心不全治療における薬剤導入順序についての検討 |
| 研究責任者 | 薬剤科 西村 文宏 |
| 本研究の目的・意義 | 【目的】 心不全の患者数は毎年約1万人ずつ増加し、2030年までに130万人に達すると推定されており、心不全パンデミックを起こす可能性が示唆されている。左室駆出率(LVEF)が低下した心不全(HFrEF)に対する薬物治療は、 β 遮断薬、アンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害薬/アンジオテンシン受容体拮抗薬(ARB)のレニンアンジオテンシン系阻害剤(RAS阻害剤)、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(MRA)、SGLT2阻害薬が診療ガイドラインに基づく標準治療(GDMT)で推奨されているが、薬剤の導入順序については、明確になっていない。そこで、本研究では、心不全患者に対して薬物治療が開始された患者を対象に各薬剤の導入率と薬剤の関連性について検討する。 |
| 研究予定期間 | 委員会承認後～2025年3月31日 |
| 該当資料・データ | 対象となる患者さま:2022年1月から2023年12月に心不全に対してGDMTが導入された患者さま 利用する情報:電子カルテに記載のある診療記録・検査データを利用します。 |
| 個人情報の取扱い | 診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、手術日など個人情報を識別可能な症状を削除し、個人情報とは無関係の番号をつけ、研究機関毎に連結可能匿名化を行います。 個人識別情報と付加番号の対応表は研究機関毎に作成し、各機関の個人情報管理者が厳重に管理し、共同研究機関並びに解析担当者には渡しません。データ解析の際は、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会、誌上に公開する際も個人を特定できる形では公表しません。 |
| 共同研究機関 | なし |
| 本研究の資金源 | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| お問い合わせ先 | 電話:096-370-3111(代表) 担当者:西村 文宏(薬剤科) |